

西大和つうしん

2011年 11月号

No.353



鎌ヶ岳から見る御在所岳(10/16)

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第353号(2011年11月号)

【目次】

山行計画	-----	1
11月度・12月度カレンダー	-----	2
例会山行《9月18日》比良山系 白滝山(勝尾)	-----	3
平日山行《9月23日》湖南の山 金勝アルプス(杉村)	-----	4
例会山行《9月30-10月3日》東北の山 八甲田山/岩木山(勝尾)	-5-6	
自主山行《10月9日》和泉の山 岩湧山(内田)	-----	7
自主山行《10月10-11日》上越の山 苗場山/谷川岳(玉越)	-----	8-9
例会山行《10月16日》鈴鹿の山 鎌ヶ岳(藤井)	-----	10
室内例会だより	-----	11

11 月 度 山 行 計 画

～草原の山～

11月6日(日) 例会山行 鈴鹿の山《入道ヶ岳》(L:島崎)

【集 合】 上牧P場 7:30

【コース】 椿大神社駐車場(9:30)～入道ヶ岳(12:00/40)～
滝ヶ谷分岐(13:40)～椿大神社駐車場(15:20)

《所要時時間》3時間40分

～紅葉の季節、古代史の名所旧跡を巡る～

11月13日(日) 公開山行 多武峰《御破裂山》(L:林)

【集 合】 近鉄桜井駅南口 9:10 <談山神社行きバス 9:25 発乗車>

【コース】 多武峰バス停(9:50)～談山神社(10:10/10:25)～御破裂山
(11:10/12:00)～西口の分岐(12:30)～石舞台古墳(13:40/14:00)
～橘寺(14:20)～近鉄飛鳥駅(15:00)(歩行距離:9.5km)

【帰宅予定】 王寺駅 17:00着予定

～山頂近くは一面の笹に覆われ、眺望も素晴らしい竜ヶ岳。お天気が良ければ伊勢湾が見える…～

11月27日(日) 例会山行 鈴鹿の山《竜ヶ岳》(L:勝尾)

【集 合】 上牧町役場駐車場 6:30発

【コース】 宇賀溪～ホタカ谷入口～竜ヶ岳～石グレ峠～小峠～
長尾滝～ホタカ谷入口～宇賀溪 《歩行時間:5時間》

西大和山の会 カレンダー

11 月			12 月		
1	火		1	木	
2	水	県連理事会	2	金	
3	木		3	土	
4	金		4	日	平日山行 武奈ヶ岳(藤井)
5	土		5	月	
6	日	例会山行 行者還岳(村田)	6	火	
7	月		7	水	
8	火		8	木	
9	水		9	金	
10	木		10	土	
11	金		11	日	例会山行 御在所岳(杉村)
12	土		12	月	
13	日	公開山行 御破裂山～明日香(林)	13	火	
14	月		14	水	
15	火		15	木	
16	水		16	金	
17	木		17	土	
18	金		18	日	例会山行 高見山(林)
19	土		19	月	原稿締切日
20	日		20	火	
21	月		21	水	
22	火		22	木	
23	水	原稿締切日	23	金	
24	木		24	土	
25	金		25	日	室内例会・忘年会
26	土		26	月	
27	日	例会山行 竜ヶ岳(勝尾)	27	火	
28	月		28	水	
29	火		29	木	
30	水	室内例会	30	金	
			31	土	

女性部山行
比良山系 《白滝山》

【日 程】 2011年9月18日(日)

【参加者】 L.勝尾 SL 藤井 島崎 田中悦 多賀 田中初 内田
杉村 玉越 的場

【コースタイム】 坊村(8:45)→伊藤新道出合(9:22)→ワサビ大滝下
(10:10)→白滝山(11:57~12:30)→オトワ池(12:40)→
夫婦滝(13:10~13:20)→牛コバ(15:05)→伊藤新道出合
(15:25)→坊村(16:00)

ワサビ谷の道は余り踏まれてなく倒木が道を塞いでいたりして、下を潜ったり上を跨いだりと歩き難い道だ。踏み跡に気を取られていると赤いテープを見落として、後から「こっちやで～」と声が掛かる。ワサビ大滝から先が又さらに急登になり、赤いテープを頼り行くも、登るにしたがい踏み跡がハッキリしなくなってくる。泥で足を滑らしながら灌木の根子をつかんでよじ登る事1時間半。

Sさんが先に立って頂上まで誘導して下さりやっとの事で山頂に着いたが、頼りのテープは途中で無くなっていた??これはワサビ大滝から少し登った所で右に行く道があったのを、左にテープが続いていたので左に行ってしまったが、この時地図を見るべきだったと今になって思う。

地図は大滝の少し上で西へ曲がっている。地図をシッカリ見ていなかった事で皆さんにしんどい思いをさせてしまった。

橋が流されて無かった事

白滝谷をどんどん下って水辺のすぐ近くまで下りて来た時、対岸に大きな橋が流され無残に岩に寄り掛かっているのが目に入った。「橋が流されて無い」とは白滝山山頂で通りかかった人達が言っていたが、この事だったのだ。そういう情報はその人達からもっときちんと聞いておけば良かった。

川は大きな岩の間を勢い良く水しぶきを上げながら流れている。水に入って渡れる所ではない。いっぺんに流されてしまいそうな激流だ。細引きを使ったり男性陣が色々動いて下さり、最終的に対岸に置いてあった工事用の鉄パイプを岩と岩の間に通してもらい、それを頼りに激流の上を渡る事が出来た。

一時はどうなる事かと思ったが男性陣のお陰で皆、無事に渡ることが出来ました。ご尽力有難うございました。

今回は大変な山行でしたが、白滝山は美しい自然林とオトワ池、長池等の池、ワサビ大滝、夫婦滝等の迫力ある滝、それに岩に水しぶきを上げながら流れる美しい渓流と色々見所のある魅力的な山でした。(記:勝尾)

平日山行
湖南の山 《金勝アルプス》

【日 程】 2011年9月23日

【参加者】 L杉村・SL辻・島崎・都築・田中悦・田中初・林
村田・内田・玉越・的場・杉川

【コースタイム】 上桐生(9:10)～落ヶ滝(9:47-53)～分岐(10:25-30)～
鶏冠山(10:50-58)～天狗岩(12:05-45)～白石峰(13:11-15)
～竜王山(13:35-40)～白石峰(14:00)～磨崖仏(14:45-55)
～上桐生(16:20)

登山入口の駐車場には多くの人が出た、
台風のためか、沢の水量が多く幾度か徒渉し、落ヶ滝も見応え充分、他にも大小の滝が出来ているように思われた。シダ類の緑も生き生きと鮮やかである。

以前に来たときはガレの道であったところが、そこにも水が流れ違った山の雰囲気が見え、面白い道が続く。落ヶ滝の上部は少しではあるがロープあり滑りやすい岩ありのスリリングな道であった。

鶏冠山は里山の山容をしている。下から見ると山頂のように見えるが、なかなか着かない。山頂は展望なし。沢山の先客がいたので早々と天狗岩へ。美しい稜線と花崗岩の岩山、軽いアップダウンを進む。時々心地よい風もあり、碧い空の下、大きな岩の天狗岩をよじ登る。多くても15、6人でいっぱいになる岩の上、運よくみんな仲良く肩を並べ、三上山、琵琶湖、比良山、比叡山など眺めながらの楽しい昼食をする。

暫く歩いて後ろを振り返ると天狗岩など切り立った岩肌が見え、通ってきた稜線が見え絶景である。僅かな急登を上ると白石峰に着く。

竜王山へは、30分程で戻ってこられるので白石峰でザックを置いて行く事に。今まで歩いた道とは違って、よくある普通の山道である。樹林を過ぎて程なくすると祠があり山頂へ。しかし、この道でMさんが木の根で躓き転倒するアクシデントがあり、4人が白石峰に残り7人で竜王山へ。

休憩を取りつつ全員で重ね岩、狛坂摩崖仏のあるガレの道を通り下山した。

台風一過、最高の天気恵まれ、次から次と飽きさせない山であり清々しいマイナスイオンいっぱいの山行であった。(記:杉村)

例会山行

東北の山 《八甲田山・岩木山》

【日 程】 H23年9月29日(木)～10月4日(火)

【参加者】 L 島崎・SL 藤井・内田・勝尾

【コースタイム】

[9/30] 青森(9:15)～バス(9:30)～八甲田ロープウェイ(11:00)～
山頂駅(11:45)～宮様ルート分岐(12:15)～毛無岱(13:15)～
酸ヶ湯(14:35)

[10/1] 酸ヶ湯(8:00)～登山口(8:10)～八甲田山頂(10:35-45)～
避難小屋(11:30-12:00)～酢ヶ湯(13:40)→→嶽温泉

[10/2] 嶽温泉(7:20)～雨具(8:40)～8合目(9:45-10:00)鳳鳴ヒュッテ
(10:45)～岩木山山頂(11:30-12:00)～聖観音(12:50)～大開
(13:25)～伯母石(14:40)～行者小屋[15:15]～赤倉神社
(15:35)→→鱒ヶ沢(16:10)

[10/3] 十二湖観光

《9月30日》

青森駅でパラパラと降り出した雨が八甲田ロープウェイ山麓駅では本降りとなった。雨に煙るロープウェイに乗り山頂駅に着く。駅舎で少し早い昼食を済ませ雨具を着ける。駅の話では大岳山頂は風雨が強く危ないとの事なので、山頂には行かずに宮様コースに変更し、毛無岱を通過して酸ヶ湯に下りる事になった。

来る前から気をもんでいた紅葉はやはりまだ早く、カエデが唯一美しく黄葉し、ナナカマドは赤い可愛い実を付けている。この辺りはアオモリトドマツの針葉樹が多く冬にはそれが樹氷になると書かれている。雲に覆われ八甲田の広がりには想像するしかなかったが、毛無岱の木道を歩いている時、一瞬前面の雲が晴れ遠くの山並みが見えた。

毛無岱は点在する地糖と草紅葉で、お天気が良ければゆっくり過ごしたい所だ。休憩所で男性1人女性3人の若いグループに出会った。大岳に登って来たとか。その中に地元の人が出て[嶽キミ]というトウモロコシが美味しいから是非食べて見て下さいとの事で、明日弘前で食べようと言う事になった。食べる話はすぐにまとまる。後は雨の中樹林帯の中の道を酸ヶ湯まで下り、温泉で疲れを癒した。

《10月1日》

今日は移動日で弘前観光の予定であったが、天気予報が曇りということで急遽大岳に登る事になった。昨日の道ではなく酸ヶ湯から10分程の薬師神社から登る。樹林帯の道に行くが、曇りのはずが途中で雨が降り出した。1時間程登り、橋を渡った辺りから風景が一変する。歩き難い岩場になり、左手は土砂崩れで荒々しい地肌がむき出て、周りはイオウの臭いがした。八甲田は今も生きている…という立て札。暫く登り、又橋を渡ると仙人岱の湿地に出た。八甲田の色んな顔に出会う。

山頂近くは霰と押し倒されそうな強風で、岩につかまりロープにつかまりしながら必死の思いで山頂に立った。写真を撮る余裕も無く毛無岱の方に下山しようとしたが、こちらは登り道以上の強風で立っているのもやっとの感じ。毛無岱への下山を諦め同じ道を引き返した。下山途中、立派な仙人岱の避難小屋があり、その中でお湯を沸かし、温かいラーメンを食べコーヒーを飲み、やっと心地着いた。酸ヶ湯に到着後、JR バスで新青森へ出、嶽温泉まで移動。明日は岩木山へ。

《10月2日》

目を覚ませば久しぶりの日差し青空が目に入る。前日の降水確率 80%の報道で岩木山の八合目までバスで行く事になっていた。この天気なら下から歩ける。急いで仕度をし、嶽登山道に登る。登山道入り口付近でうっすら雪化粧の山頂が見えた。混合林の緩やかな道を暫く登ると、ブナ林になった。日差しを受けて輝いている。やっぱり晴れると気持ちが良いな—と思うのもつかの間、急に風が吹き出し雨が降ってきた。

山の天気は変わりやすいというが…。八合目の駐車場は濃霧で周りが見えなかった。リフト横の道に登る。霰が降り岩や笹の葉の上に昨日降った雪が積もっている。鳳鳴ヒュッテから山頂までは八甲田に劣らず暴風霰、周りの木々に霧氷が出来ていた。山頂の避難小屋にて温かいコーヒーを飲み昼食を取る。八甲田も岩木山も避難小屋で食事を取れるのが有り難かった。下りは聖観音、大開きを通り、鬼の土俵(この辺りで後を振り向くと赤倉山の紅葉が綺麗だった)伯母石を過ぎ、きつい下りに3時間半掛って赤倉神社に着き、タクシーで今日の宿鱒ヶ沢に向かった。海沿いの鱒ヶ沢でも今日は台風並みの強風だったようだ。

《10月3日》

今日は観光で十二湖巡り、静かな山の中の湖を訪ねる。美しい海岸線を走る五能線では線路真際にまで打ち寄せる荒波が圧巻であった。そして、雲に少し隠れてはいたものの、海に沈む夕日も印象的だった。今回は珍しく4日間とも雨に降られ、充分景色は楽しむ事が出来なかったが、山の厳しい一面を感じる事が出来た。又今までと違った思い出深い山行となった。
(記:勝尾)

自主山行
和泉山系 《岩湧山から紀見峠》

【山行日】 2011年10月9日(日) 快晴

【参加者】 L藤井 島崎 林 窪田 内田

【コースタイム】 河内長野(9:04 バス)滝畑ダム登山口(10:00)カギサコ
(10:25)岩湧山(11:50/12:40)根古峰(13:35)三合目
(14:00/14:17)二合目(14:42)紀見峠駅(15:10)

かねてよりの念願だったこのコースにやっと行くことができました。
いいようのないほどのいい天気、河内長野からのバスは2台が超満員、
そのほとんどが、この山に行く人たち、それほど人気のコースです。岩湧
山頂までは本当に歩きやすい道、さすがに、地元自治会の管理が行き届
いています。以前、来た時は、最初と最後が急登、そんな意識がありました。
た。

植林帯を抜けると、ぱっと明るくなりいきなり、ススキの原に変わります。
山頂のススキは、ちょうど見ごろ、昼食場所を探すのにも苦労するほどの
人、人、人、展望は抜群でしたが、少しかすんで海のほうまでは見られま
せんでした。

紀見峠に向かう山道ではアキチョウジが満開、珍しいテイショウソウや
赤い実を葉っぱに乗せたハナイカダが見られました。以前よりずっと見
たいと思っていたハナイカダに出会えたことはラッキーでした。地図で
見たら、沢山の道があつて分かりにくいのかと思つたら、さすがにタイトレ
のコースとありわかりやすくなっていました。山をやりはじめた、5年ほど
前は、天見のほうに抜け、その道のりのきつかったこと、なぜあの時、コン
クリートの多いあのコースだったのか、紀見峠に行けば殆ど山道なのに
と今更ながら不思議です。しかし後半、きついコンクリートの下り坂に腰を
痛めてしまいそうになりながら終点の紀見峠駅に着きました。

山の楽しみ方もひとそれぞれ、私は何か発見がないか常にそれを念
頭に入れていつも歩いています。物言わぬ植物の声を聞き、鳥のさえず
りに耳を傾け、人も、この地球という星の一部だと感じる事が出来た
ら…それが私の山登りです。

こんなのんびりした山行もたまにはいいのでは… (記・内田)

自主山行

上越の山 **《苗場山(2145m)・谷川岳(1977m)》**

【日程】2011年10月10日～11日(前夜発)

【参加者】L辻・SL杉村・玉越

【コースタイム】

[10/10] 3合目駐車場(7:45)～坪場(10:00)～苗場山山頂(11:00/12:00)
～3合目駐車場(14:25)

《移動》小赤沢温泉……谷川岳マチガ沢駐車場(19:00)

[10/11] マチガ沢巖剛新道登山口(6:30)～ラクダの科尔(8:35)～ザング岩
(9:45)～トモノ耳(10:10)～オキノ耳(10:30/11:20)～天狗の留まり場
(12:30)～ロープウェイ天神平駅(13:50)～土合口駅(14:20)～マチガ
沢駐車場(14:40)

《10月10日(月・祝)晴れ/苗場山》

深夜1時半頃小赤沢コースの3合目駐車場に到着し、車の中で就寝。
目が覚めると関東ナンバーの車がたくさん停まっていた。

ゆっくりと朝食と準備を済ませて、いよいよ出発。足元は悪く、雨が降
ったのかと思うようなドロドロとぬかるんだ道を進む。

丸太のステップが敷いてあり整備されているが、その上に泥がついて
いて大変滑りやすい。1時間ほど緩やかに登ると、開けた場所に着き、衣
服調整をする。文字が消えかかった看板に「6合目」とあり、「なかなか良
い調子やな」と思っていると「6合目迄〇〇分」と書いてあるのだという
ことを他のグループに教えてもらう。

出発から2時間後8合目に到着。やや急な傾斜をロープを使って登るが、
ここも岩に泥がついていて滑りやすい。注意しながら登りきると、開けた
坪場が現れる。「上信越自然公園」と書かれた頂上一帯は周囲10KMに
も及ぶ湿原で、苗場山の名前の由来でもあるミヤマホタルイが、まるで
水田の苗のように広がっている。

おおらかな麦草色の湿原を眺めながら木道をゆく。池塘が点在し、夏
にはチングルマの群生が見られるそう。この日は展望もよく上越の
山々を見渡すことができた。

昼食を済ませ、後ろ髪をひかれながら同じ道を下山する。「6合目」の
看板に喜んでいる登山者に「6合目迄〇〇分」だよと教えてあげる。ちょ
っと優越感。次回は夏に、山頂ヒュッテに泊まって、天空の湿原で夜明けを
迎えてみたい。

下山後はふもとの秋山郷にある小赤沢温泉に入る。茶色のお湯と、小じんまりした趣ある建物がとてもよかった。こちらももう一度訪れたい。

明日登る谷川岳マチガ沢まで移動。19時には着いたが周囲は真っ暗闇。一ノ倉を見ようかと行きかけたが、そこではたくさんのクライマーが亡くなったと聞いて、怖くなり引き返した。

《10月11日（火）曇りのち晴れ／谷川岳》

6時半、マチガ沢巖剛新道を登りはじめる。1時間ほど登ると、沢の対岸に滝が見える。地図には大滝とあるが、今の季節は水量が少ないため見落としてしまいそうだった。ここからは急登が続き、両手を使って登る。

西黒尾根コースとの出会いラクダのコル（ガレ沢の頭）に着く。ここからはさらに傾斜が強くなり、クサリのかかった岩場を慎重に登ってゆく。

ちょうどこのころからガスの中に入ってしまう、しとしとと雨が降っていたので、大きな岩盤はさらに滑りやすくなる。また昨夜の怖い話を思い出してしまい、クサリを持つ手に力が入る。

トマの耳、さらに北に20分進んでオキの耳と、双耳峰と呼ばれる谷川岳の二つのピークに立つ。オキの耳では「100名山達成」の横断幕を持ったおじいさんに出会い、拍手を送る。

山頂を辞して天神尾根を下る頃、ようやくガスが晴れてきた。天神尾根コースは小さなガレ場はあるものの、歩きやすい初心者コースで、登山者も多い。天狗の留まり場では視界が開け、美しく色づいた谷川岳とその稜線に連なる峰々が望める。樹木に覆われた木道を下ってゆくと天神平のロープウェイ駅に到着する。

ここからは天神峠へ登るリフトがあって、子供やお年寄りでも展望を楽しむことができるそうだ。

片道10分で土合駅へ下り立つと、マチガ沢駐車場まで20分歩いて戻る。まだ15時で明るかったので昨夜行けなかった一ノ倉を見に行く。日本有数の巨大岩壁がそびえ立ち、亡くなったクライマーのレリーフがそこに埋め込まれてある。リーダーも若かりし頃、登ったことがあるそうだ。

お天気にも恵まれ、紅葉の色づきもちょうどよかった。まるで家族旅行のように和やかに楽しく、思い出に残る山行になりました。

お父さん、綿密で完璧な計画と長距離運転ありがとうございました。

お母さん、美味しい果物と、楽しいお話ありがとうございました。

（記：玉越）

例会山行
鈴鹿の山 **《鎌ガ岳》**(1151m)

【日 程】 10月16日(日) 晴れ

【参加者】 L 藤井・島崎・多賀・林・辻・杉川・杉村・内田

【コースタイム】 御在所山の家 P(8:40)長石尾根・鎌ガ岳(11:15/12:00)
三ツ口谷分岐(12:25)武平峠道合流(13:50)駐車場(14:15)

予定では台高の迷ヶ岳に行くつもりだったが台風 12 号の爪あとがまだまだ残っているので鈴鹿方面に変更した。

朝まで降り続いていた雨があがり見事にカラッと晴れわたって絶好の登山日和になった。

鈴鹿スカイラインはまだ修復工事が終わっておらず、通行止ゲートの手前で駐車する。いい季節とあって、もうすでにたくさんの車が止めてあった。

舗装道路を少し下り、長石尾根への山道に入る。すぐにちょっといやな沢を横切る。大雨が降った後なので不安になるが、あとは尾根道なので急な道をぐんぐん登っていく。尾根に乗るとさわやかな風が吹きぬけ、展望が開け、御在所ロープウエーの赤いゴンドラが登っていくのが見える。正面にピラミダルな鎌の鋭鋒を見ながら登るのは実に気持ちがいい。高度が上がると木々も色づき始めており、青い空とのコントラストが美しい。ガレ場や木の根やロープをつかんでの急登が続くが意外に早く頂上に飛び出した。

眺めは最高！鈴鹿のそうそうたる山々、遠くの町並みまで見渡せる。やっぱり山は天気次第。

下りは武平峠方面に急坂を降り、分岐から三ツ口谷に入る。水量はたいしたことなく、渡渉をくりかえし下っていくが、靴を濡らすこともなく、行きに見送った橋をわたり駐車地に降り着いた。

明るい自然林と岩場やダイナミックな山容に U さんはすっかり鈴鹿のファンになったようだ。

湯ノ山温泉ですっきり汗を流して帰路についた。 (記 藤井)

室内例会だより

【日 時】 2011年9月28日（水）19：30～20：50 事務所

【出席者】 島崎、田中悦、田中初、多賀、辻、都築、三島、林、藤本
高橋、村田、勝尾、内田、杉村、玉越、的場、杉川、内藤
藤井（19名）

1、山行報告

8月27～28日 例会山行 八ヶ岳 硫黄岳～赤岳 L辻 6名
9月4日（日）県連広域搜索訓練は台風のため中止
9月10～11日 30周年記念テント山行
蒜山三山 L多賀 11名

2、山行案内

9月29日～10月4日 八甲田山・岩木山 L島崎
10月9日（日）自主山行 岩湧山 L藤井
10月16日（日）例会山行 鈴鹿山系鎌ガ岳 L藤井
台風のため行先を変更しました。
10月22～23日 県連交流山行 恵那山 L藤本
10月30日（日）平日山行 鈴鹿 鬼ヶ牙～臼杵山 L田中初

3、連絡その他

- ・ 10月2日（日） チャレンジハイク 笠置山
- ・ 10月22～23日 県連交流山行 恵那山
- ・ 11月12日（土）山野井泰史講演会
参加希望者は藤井までメールしてください。
- ・ 台風12号被害の義捐金を募りました。
- ・ 京都バス雲が畑線バス存続の要望書の署名をしました。
- ・ 11月の例会山行リーダーの変更 村田→島崎
- ・ 事故報告 9月23日 平日山行 金勝アルプスで転倒 左肩脱臼
事故報告書は原則として山行リーダーが記入する。
- ・ 後期会費の徴収
- ・ 内藤妙子さんが体調不良のため退会されました。